

2016 (平成28)年 12月 1日 第42号

社会福祉法人 十字の園

ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)

発行: (福) 十字の園法人本部
理事長 平井 章

住所: 〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11
tel 053-414-1400
fax 053-420-2100



松崎教会の礼拝

『松崎教会の祈り』

松崎十字の園／オリブ 施設長 三條洋二

十字の園は、施設建設を行う際、キリスト教の教会がある所に施設を作ってきました。松崎十字の園も町内に松崎教会がある事で施設建設に踏み切ったと平井理事長は言われていました。松崎教会は、ベテスタ会という社会福祉法人を生み出し、聖和保育園の運営に関わっている教会であります。ですから松崎教会は、地域という事をいつも心に留めていて、日曜日の教会礼拝の祈りでは、聖和保育園を利用する子供たち、そしてその親の事、子供たちに接する職員たちの事を祈りの中においています。そして15年前に松崎十字の園は創られましたがその誘致の際にも、また出来てからの施設での働き、利用者の事、職員たちについてもお祈りの中に加えて祈って下さっています。わたしは、礼拝に行った時、その祈りに励まされています。同じように、利用者を連れて、礼拝に参加する職員も同じであろうと思います。また、教会に行かない職員にもその祈りが伝わり、教会が地域にある事でその者たちも一人ではないという思いで励まされているのではないかと思います。

自分たちだけの世界に陥りやすい利用者支援という仕事にいつも気にしてくれている人がいて、その力に押し出されてキリスト教福祉を行う事が出来るのではないかと思います。

日本における十字の園の使命（ミッション）

副理事長 上野貢一

浜松十字の園の入り口の所に、「夕暮れになっても光がある」と書かれた石碑があります。裏側に、定礎の祈り『主イエス・キリストよ あなたのご命令で この家を建てますから あなたがこの家の基礎になってください』1960年5月5日ディアコニッセ・ハニ・ウォルフ」と書かれてあります。「夕暮れになっても光がある」は、法人が大切にしている聖句で、旧約聖書ゼカリヤ書14章7節にあります。人間の中には、その人そのものの光があって、人生の最後まで輝き続け、やがて訪れる死の向こうへの希望がある。私は、その光を見詰め支え続けることだと体験を通して受け止めたように思います。職員は、ハニ姉妹の定礎の祈りの言葉を基に、主イエス・キリストの愛の具現化に努め励む必要があります。法人は、1960年12月28日に認可を受け、翌1961年1月20日に、生活保護法の中で30床の介護を必要とする人の為の老人ホームを始めました。その2年後1963年に老人福祉法が制定されます。この歴史的経過は、日本の高齢者福祉を語る上で十分検証する必要があるでしょう。

1946年、日本と同じ敗戦国ドイツから、ブレーメン教区長P・G・メラー牧師が来日します。戦後の惨状を見て、日本の為にディアコニッセを派遣する用意があることが伝えられ、1953年、1人の婦人伝道師と5人のディアコニッセ達が出て来ます。P・G・メラー牧師の来日から7年が経過して行きました。その間日本の福祉法は、生活保護法（1946年）、児童福祉法（1947年）、身体障害者福祉法（1949年）、新生活保護法（1950年）、社会福祉事業法（1951年）と矢次早に制定されました。しかし、老人福祉法、精神保健福祉法は、まだ未整備でした。恐れられていた結核も治る病気になり、1949年には、聖隷保養農園で第1号の外科手術が行われます。十字の園が出来た1960

年は、高齢化率5.7%で、高齢化社会が目の前に迫って行きました。高齢者の介護の問題は、日本の大きな課題でした。高度経済成長政策で、田舎から都会へと人口の移動が起こり、過疎、過密の問題が表面化し、親の介護は、家族、取り分け嫁や娘がやるのが当然だとの意識は、現状に合わなくなり高齢者問題が顕在化し始め、家族の悲惨な状況を目にするようになります。ハニ姉妹は、この日本の状況に使命感を感じ、老人ホーム建設の為に、一旦ドイツに戻り600万円の募金を集め、その資金で老人ホームの建設が始まります。2年後、国は老人福祉法を制定するに当たり、建物もですが、介護の中身をどうするのかという問題に対して、十字の園を参考にします。

シモーヌ・ド・ボーヴォワールの著書『老い』の上巻の序説に「人間がその最後の15年ないし20年のあいだ、もはや1個の廃品でしかないという事実は文明の挫折をはっきりと示している」とあり、「人間たちがその生涯の最後の時期において人間でありつづけるように要求することは、徹底的な変革を意味するだろう、私はそのために読者の協力を求めたい」と結んでいます。出版から50年が経過し、最近、若年者、高齢者の自死等の悲惨なニュースを目にします。今年7月26日に相模原の障がい者施設で、元職員が起こした事件は、日本中に大きな衝撃が走りました。障がい者が19人も死亡し、26人が怪我をしました。事件を起こした容疑者は、「障がい者なんていなくなればいい」と話していたといえます。

現在、社会福祉法人改革の来年4月施行に向けて、定款改訂等の準備をする中で、今一度、原点に立ち戻り十字の園の使命（ミッション）を想起したいと思うのです。



「いっしょに生きて行く」

十字の園評議員(日本基督教団 松崎教会 牧師) 星野正興

先日、相模原の「障がい者」の施設で悲惨な事件が起こった。「この世で役に立たない者は、抹消させるべきだ」という思想による事件である。今までの歴史を振り返ると、この理由によって数多くの虐殺や殺戮が行われて来たと思う。すべての戦争というものも、その動機を含んでいると言えよう。

全世界には必ず「障がい」を負う者がいる。まさにこの自分がその一人であるのかも知れない。そういう者がいての「世界」なのである。だから、世界の輪はそのような者を含んではじめて繋がり完成する。そのような者がいなければ、この世界は未完成なのだ。事実、そういう者に私たちは多くのことを学んでいる。ここに「社会福祉」の意味と課題があるのだと思う。

私たちは今「社会福祉」に関わっている。その中で、主イエスの生き方に導かれる。イエスはこどもにも「障がい」を負う者にも、またみんなから排除される者にも関わりを持たれた。そのことが「愛」ということだったのだ。

この愛の完成の時を目指して、すべての者がいっしょに生きて行く世界を共に求め続けて行きたい。それが出来る特権を、みんなに先駆けて私たちは与えられていることに感謝しつつ。



星野画伯 自画像

「ホッとできるみんなの居場所」

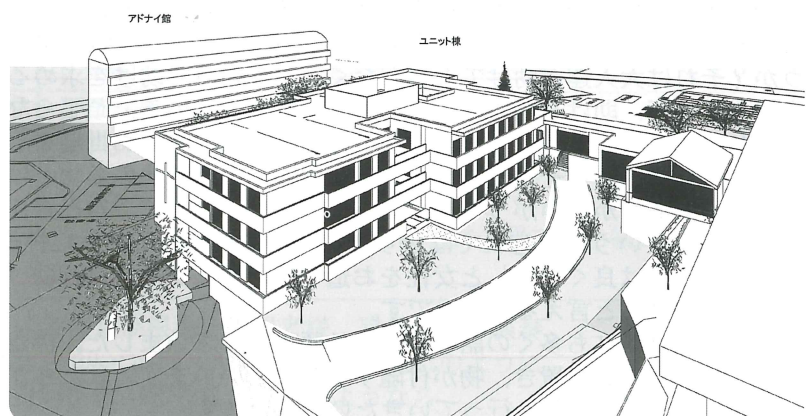
浜松十字の園 施設長 山本隆弘

浜松十字の園建替計画は、タイトルにあるキャッチフレーズの実現に向けて進行中です。

当施設は定員120名の従来型特養ですが、第1期工事では昭和49年建築のさつき棟に隣接してユニット型特養(定員60名)を建て、さつき棟の解体後、公園として整備します。第2期工事では、従来型特養の定員を60名に減らし、居室として使用していた部分を食堂などの寛ぎの場にして、今以上に生活感の漂う空間にしていきます。2つの建物はギャラリーとして使える廊下でつなぎ、地域交流室も設け、地域の方々との交わり場として拡げていきます。

建築には多額の費用がかかります。平成30年度に補助金を受けて工事を始めることができるよう行政と協議を重ねています。また、ユニット棟で繰り広げられる暮らしや第2期工事の内容をどのような形にしていくか、夢を広げながら、実現に向けて邁進しています。

皆様の温かい御支援をよろしくお願い致します。



「2016年度 十字の園大会 開催」 (担当：御殿場)

主 題『^{こころ}創立の精神から新たな福祉に^{チャレンジ}挑戦～既に据えられている土台の上に』
テーマ『夢に向かって共に歩む』

十字の園大会が10月20日(木)、21日(金)に御殿場の地で開催されました。創立の精神の継承と職員同士の交流を目的に始まったこの大会も今年で21回目になります。毎年大会のテーマが設定され、今年度は「夢に向かって共に歩む」です。各施設で様々な課題がありながらも「夢」に向かって取り組んでいることを分かち合いたいという思いが込められています。

まず、御殿場教会の牧師中島善子先生の礼拝で始まり、続く講演では、ホームレス状態にある方たちに対し、伴走型で「共に歩む」支援を実践されているNPO法人の理事長奥田知志氏をお招きし、『『助けて』』と言える社会へ ～人間とは何か～』を題に講演していただきました。そして平井理事長より、職員へのメッセージとして「十字の園への期待とわたしの中にあるこれからの夢」と題して、過去の機関誌などを用いながら先人たちの歩み、これまでの理事長としての歩み、そして2025年を踏まえたこれからの各施設における「夢」を、期待を込めて語っていただきました。

2日目は施設ごとに、何とかしたいという思いや、もっと良くしたいといった思い(夢)に向かった取り組みが発表されました。

最後にアドナイ館入居者様と根洗荘利用者様によるブネメソッドの楽しい演奏発表もありました。

宿泊は4～5人毎にロッジで過ごし、夕食の懇親会では奥田先生もご参加くださり、とても楽しい集いが持たれ、内容の濃い大会となりました。以下は講演の要約です。



基調講演

演題：「助けて」と言える社会へ ～人間とは何か～

講師：NPO法人抱樸理事長・ホームレス支援全国ネットワーク理事長 奥田知志氏

経済的困窮(ハウスレス)と社会的孤立(ホームレス)は異なります。ハウスが揃ってもホームがないという事から同時に「何が必要か、誰が必要か」を解決していかなくては意味がありません。現に家があるにも関わらず生活困窮しており餓死してしまう方も多くいるのです。20年以上前、中学生による夜中のホームレス襲撃事件が多発して世間を騒がせました。ホームレスの方とそのことについて話す中、「俺はホームレスだからその中学生の気持ちわかるけどな。」という言葉が出たのです。

中学生は夜中に出歩いており、親は無関心で心配もしてくれない。家はあっても家庭ではない。「それこそが本当の意味でホームレスなのでは？」と言われたように思いました。これからの社会はもっと無縁化していく、家があってもホームレス状態、そして経済的困窮も重なっていくのではという事を考えて伴走型支援の取り組みを始めたのです。

今の日本の特徴として「助けて」と言えない子どもたちが増えており、いつの間にか自分で自分の命を絶っています。これは今の日本が抱える社会の闇でしょう。子どもたちが自殺をする前に助けてと言えなくなっているのです。本来子供であれば助けを求めるべきなのですが、助けてと言えなくなっているのはなぜでしょうか？それは大人達が助けてと言えなくなっており、助けを求める事に対してある一定のマイナスの価値観を持っていて、助けを求める事は、負け組、甘えている、頑張らなかつた結果だという風潮があるためだと思われます。そして助けてと言えない職業として「人のお世話をしている人」に多く、牧師であったり、医療や介護の関係者もそうです。人間は赤ちゃんの時は他の動物とは違って仰向け、つまり降参のポーズをしていて本能的にかわいがってもらおうとしているのです。自己責任も大事な事ですが、それは周りの助けがあつてこそという事を忘れてはなりません。聖書にあるように神様ははじめ人をお造りになった時、「人が一人であるのは良くない」と女性をお造りになりました。他の助けが必要なのは人間なのです。本当に格好いい人は助けてと言える人なのです。

奥田先生は他にも多くの話をじっくり語って下さいました。伴走型支援とは物やサービスを単に与えるのではなく、中心に心を置き、物が付随する支援をいいます。私たちが出会う利用者さん一人一人にしっかりと関わり、心がある支援を行っていきたいと思います。



理事長メッセージ

「十字の園への期待とわたしの中にあるこれからの夢」

創立の精神を次世代に継承したいとして始まった「十字の園大会」。今回のテーマは、「夢に向かって共に歩む」です。「小屋のそばにそそり立つ崖が崩れ、一番大きな石がまともに小屋をめがけて落ちました。不思議にもそれは建物を避けて床下に滑り込み、ハニ姉妹の命は助かりました。その夜、ハニ姉妹は夢を見ました。農村で一人寂しく寝ている老人の姿です。『私たちの老人ホームは、一人で寝ている老人の為にこそなければなりません。神様はきっと、私にそのことを命じておられるのだ』と。」そのハニ姉妹の「夢」が今日の特別養護老人ホームの先駆けとなったのです。



理事長 平井 章



「十字の園」創設のルーツ、聖隷の歴史、地域の課題から創立されてきた経緯を引継ぎ、これからの、法人十字の園として地域のニーズに答えながら、地域の中ですべての人達と共に生きる社会を実現していかなければならないと平井理事長は述べられました。そして最後に、『今まで歩んできた人生を、家族や友人、知人の協力を得ながら、共に生きる居場所を創る』ことが私の夢ですと語られました。

「第21回十字の園大会」プログラム

第1日目【10月20日(木)】	
13:00	開会礼拝
13:30	基調講演
15:15	理事長メッセージ
16:25	人材育成説明
18:00	夕食懇談会

第2日目【10月21日(金)】	
9:15	施設発表1 浜松十字の園・御殿場十字の園・ 伊豆高原十字の園・松崎十字の園
10:50	施設発表2 平和の杜・アドナイ館・ 第2アドナイ館グループ根洗荘
12:05	閉会礼拝

施設発表

施設名	発表者	テーマ
浜松十字の園	栗田洋平	「利用者一人一人がいきいきとしたデイサービスを目指して」
御殿場十字の園	堀田 良 和田美和子	「笑顔の花を咲かせよう」 ～施設における「5つの落差」、「気づき」と取り組み～
伊豆高原十字の園	富岡良太	「もう一度、生きてみよう」
松崎十字の園	渡邊治郎	「それぞれの夢に向かって、共に」 ～小さな夢をたくさん集め、人生の先輩方と優しさに包まれながら、一般就労も目指し、理想の夢を追いかける～
平和の杜	青木昌子	「養護老人ホーム建て替えに抱く夢」 ～養護老人ホームの現状と未来につなぐ夢～
アドナイ館	鈴木晶子	「ブンネメソッドが拓げてくれた夢」 ～ブンネの活動状況その①アドナイ編～
第2アドナイ館 グループ根洗荘	倉田真樹	「ブンネメソッドが拓げてくれた夢」 ～ブンネメソッドは、人生の舞台に主役で立ち続ける能力を引き出す道具になる!!～
ブンネメソッドの演奏	アドナイ館の入居者様及び根洗荘利用者様、職員による演奏 ①はじまりのうた ②いつくしみ深き ③川の流れのように ④花は咲く ⑤青い山脈 ⑥今日の日はさようなら	

【大規模補修を行っています。】

御殿場十字の園 山本 靖



国土交通省「平成28年度既存建築物省エネ化推進事業」補助金を受け、9月の中旬より全館のエアコン交換と屋内照明機器のLED化を図っています。全体で室外機23基、天井室内機199基、照明機器約1,466個の交換を行います。建物全体を4区画に分け、区画毎に大型クレーンを用いた屋上室外機の載せ替え、室内機交換・既存配管への接続を行います。エアコン依存度の少ない時期を選んで工期を定めたのですが、今年は異常気象のため、昨日と今日の日中温度差が16度以上という日もあり居住環境維持に殊の外苦労しました。

エアコン工事が完了した今、新しい設備は「以前より風が柔らかく暖かい」と好評です。現在、作業は照明工事の行程に入っています

これに加えて、本館車寄せ（中央玄関、職員玄関）の雨漏り修理・防水機能補修とケアハウス屋上の防水機能補修を行っています。御殿場の風雨・雪害に17年間耐えてきた証ですが、安全にそして安心してご利用いただくため、雪が降る前に修理・補修を完了します。



【米寿（88歳）おめでとうございます】敬老会 / 感謝の集い

伊東市立養護老人ホーム 平和の杜 川尻 寿

平成28年9月21日（水）、心配していた台風16号の影響もなく、無事に『敬老会 / 感謝の集い』が行われました。今年は2名の入居者がめでたく米寿のお祝いを迎えました。恒例になった職員からの手紙の朗読では、感極まって涙ぐむシーンも見られ、あらためて人生の節目を祝う喜びを感じました。



昨年から、『敬老会』と合同で執り行うことになった『感謝の集い』では、日頃、礼拝でお世話になっている教会の牧師さんや「俳句の会」「わの会」といったボランティアの方々もお呼びし、記念品と感謝の言葉を贈りました。入居者を代表して感謝の言葉を伝えてくれた山本七枝さんも緊張でガチガチでしたが、頑張っ最後までメッセージを読み上げてくれました。

また、前日までは台風の接近で開催が危ぶまれていた『伊東囃子保存会』の演奏も行われました。太鼓と観覧席の距離が近いこともあり、特に最前列に座られていた方々は、迫力ある太鼓の演奏に圧倒され、思わず体がのけ反るほどでした。



敬老会終盤では、施設での思い出を振り返るスライド写真を観賞し、会場からは自然と拍手が起こり和やかな時間を過ごすことができました。来年の『敬老会 / 感謝の集い』も楽しみにしてください。

【古からの賜～『書道』の軌跡～】

伊豆高原十字の園 生活相談室 梅原 聖



伊豆高原十字の園では、レクリエーションの一環として、月に1回『書道リハビリ』を実施しております。参加される皆様も、職員も『書道』を通じた『言葉』の背景や輝きに魅了されます。

『書道』の歴史は古く、紀元8年の中国の『新』に端を発します。日本では弥生時代の古墳の中の銅貨に、『新』からの漢字伝来の背景とルーツを知ることが出来ます。やがて6世紀に朝鮮半島から仏教が伝来すると共に、飛鳥時代の日本国内に急速に普及することになったのです。

飛鳥文化から奈良・平安時代を経て、中世・近世・近代・現代・現在と歴史と時間の経過と共に、今も『書道』は脈々と息吹いております。

さる平成28年10月7日（金）～9日（日）に、静岡県伊東市観光会館別館にて、『第7回 伊豆の書道 佑育書道会展』が開催されました。

伊豆高原十字の園の入居者様の作品が何点か展示され、展覧会に出席された皆様が笑顔と喜びにあふれ、作品の前は多くの訪問者の歓声で賑わいました。これぞ『書道』を通じた、『言霊（ことだま）』の輝きでした。

展覧会に出席された皆様が笑顔と喜びにあふれ、作品の前は多くの訪問者の歓声で賑わいました。これぞ『書道』を通じた、『言霊（ことだま）』の輝きでした。



【私の人生と退職】

松崎十字の園 藤原ヒロ子

私は18歳まで鹿児島県出水で育ちました。出水は出水平野や1万5千羽の鶴がシベリアから舞い降りて来る所まで有名でした。また昔は特攻隊の飛行場があった所です。

高校卒業後、大阪で6年間事務職、退職後結婚、子育てをしながら内職、その後地元のスーパーで20年間働いてきました。主人は働かない人で、お金を使い込んだり給料が入らなかつたりで苦労しました。

私は下の娘が小3の時から朝から夜まで働く事を決心し、二人の娘が高校卒業までの10年余り頑張りました。娘の卒業を機に離婚をしました。

再婚した主人は肺癌で、61歳で亡くなりました。十字の園で採用して頂いたのは主人が亡くなり3ヶ月もしない頃で、自宅にいるのが辛く、仕事に抛り所を求めそれから、15年の歳月が流れました。その間に下の娘は16歳からの摂食障害で32歳の若さでこの世を去りました。

私は今まで子供が病気でも仕事を優先して来た事に責任を感じ苦しみました。大好きな歌が歌えなかつたり人混みが怖かつたり、急に涙が溢れたり。辛い時が流れ流れてやっと歌が歌えるようになり、明るく過ごす事が出来るようになりました。私を救ってくれたのは好きな曲や、野山に咲く花々、職場の素晴らしい仲間と心から思っています。

退職してからやる事は山ほどあるのに、職を失う自分は、これから大丈夫だろうかと心配しています。鹿児島弁で言えば、「まあぼちぼち気張りやんせ、おやっとさあー（お疲れ様）」という気持ちでしょうか。今まで影日向なく助けて下さって有り難う御座いました。

熊本地震の復興支援募金 活動報告 ご支援ありがとうございました。

熊本地方を震源とした地震で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

私たち十字の園は、2016年熊本地震災害に対しまして、復興支援募金活動を第1回（4月）、第2回（5月）、第3回（7月）、法人内事業所及び関係者をお願いをしました。

皆さまのご協力により、合計で464,947円もの募金をお預かり致しました。

この度の募金活動にご協力いただきました皆さまに、心から感謝を申し上げます。

お預かりした募金は、

- ①NPO 抱樸（北九州ホームレス支援機構）熊本地震支援物資購入費用等に50,000円。
- ②NPO コレクティブ（介護福祉事業者）熊本地震支援物資購入等の費用に100,000円。
- ③ところをつなぐ「よか隊ネット」（公財 共生地域創造財団）熊本地震支援の運営資金に78,700円。
- ④全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会熊本地震募金 熊本地震支援仮設住宅巡回用の車両購入のために154,700円。
- ⑤キリスト教界総合福祉募金（今後の復興支援スタッフ派遣の資金援助、熊本地震支援団体）の資金支援のために81,547円。

寄付致しました。

引き続き、必要とされる支援活動を行ってまいります。

熊本地震災害に対しての支援に関するご理解とご支援を心からお願い申し上げますと共に、被災された各地域の一日も早い復旧と、被災された方々のご無事を心からお祈り致します。

2016
平成28年度

永年勤続者表彰名簿 (31名)

おめでとうございます。これからも
元気で良い働きができますように！

勤続年数	氏名	施設名	就職年月日	勤続年数	氏名	施設名	就職年月日
30年	松田みどり	御殿場十字の園	昭和60年6月1日	10年	榎林直明	浜松十字の園	平成18年2月24日
25年	重永仁美	伊豆高原十字の園	平成3年4月1日	10年	鶴見圭秀	浜松十字の園	平成18年4月1日
25年	渥美智子	浜松十字の園	平成3年4月1日	10年	鈴木政明	浜松十字の園	平成17年12月1日
20年	寺田幸子	浜松十字の園	平成7年8月1日	10年	岩澤絹代	伊東市養護老人ホーム	平成17年4月1日
20年	森島信幸	浜松十字の園	平成7年12月18日	10年	前田理沙	御殿場十字の園	平成18年4月1日
20年	杉山潔	御殿場十字の園	平成8年4月1日	10年	室伏千鶴	御殿場十字の園	平成18年4月1日
20年	鈴木敬二	第2アドナイ館	平成2年4月1日	10年	中川正枝	御殿場十字の園	平成16年4月1日
15年	稲葉雅一	伊東市養護老人ホーム	平成13年3月1日	10年	鬼塚歩	御殿場十字の園	平成16年10月1日
15年	西島一恵	伊豆高原十字の園	平成13年1月15日	10年	高橋直輝	御殿場十字の園	平成17年2月1日
15年	小川秀幸	伊豆高原十字の園	平成12年5月1日	10年	小見山千明	御殿場十字の園	平成17年4月1日
15年	山本隆弘	浜松十字の園	平成13年4月1日	10年	長田美佳	御殿場十字の園	平成17年4月1日
15年	大西由佳利	御殿場十字の園	平成12年6月1日	10年	苅部愛理	御殿場十字の園	平成17年4月1日
15年	小野真樹	御殿場十字の園	平成12年10月1日	10年	相川久実	御殿場十字の園	平成17年4月1日
15年	安田千春	御殿場十字の園	平成13年4月1日	10年	小川晃	第2アドナイ館	平成17年12月1日
15年	小杉佳弘	第2アドナイ館	平成12年7月1日	10年	大川浩美	松崎十字の園	平成16年4月1日
15年	渡邊直明	松崎十字の園	平成12年9月1日				

あとがき 現在は終了してしまい残念ですが、長い間、放送されていた深津絵里さんのパスコ「超熟」（トースト編）のCMのラストシーンの街並み。あれは松崎の牛原山から見た、松崎の街並みです。松崎十字の園も映っています。気が付かれた方は居たでしょうか？残念！見てなかった、という方、大丈夫です。YouTubeで検索して下さい。ちゃんと見られます。きれいな町でしょう。松崎って。

皆さん、松崎に遊びに来たら是非、牛原山に登って下さい（車で行けます）。

松崎十字の園/オリブ 馬場 弘

熊本地震及び東日本大震災復興支援募金にご協力を！

皆様の温かい御支援を

お待ちしております!!

〒431-1304

静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11

社会福祉法人 十字の園

理事長 平井章

銀行振替 静岡銀行細江支店 普通 0015345

(掲載されています写真については、ご本人またはご家族の承諾を頂いています。)